別紙

西脇ファッション都市構想の進捗報告と検証について

1　事業概要

産業構造の変化により地域経済の低迷が続く中、本市の地場産業である播州織を生かし、西脇のブランド力を向上させるため、デザイナー育成への補助や最終製品の創出を図る事業等を行う。

・ファッション業界に進路希望する学生や転職希望者を対象に、産地で仕事をしながら起業等を目指す人材を育成
・デザイナー等が集い、情報交換を行い、最終製品の試作・開発ができる共働スペース（コワーキングスペース）の整備・運営
・国産表示制度の認証支援を行い播州織の競争力を強化
・最終製品の製造・販売の促進、試織コストの削減、縫製・織物工場の創出・誘致の研究等

2　本事業におけるＫＰＩ（重要業績評価指標）の推移

⑴　平成27年度（目標時期：平成28年３月末）

指標項目	指標値	達成値	検証結果
①デザイナー研修生の受入人数	２名	４名	達成済み
②国産表示制度の認証申請件数	20件	22件	達成済み
③業界連絡体制・若手研究会の設置	各１件	各１件	達成済み
④学生等研修受入人数	25名	38名	達成済み

⑵　平成28年度（目標時期：平成29年３月末）

指標項目	指標値	達成値	検証結果
①デザイナー研修生の受入人数	３名	７名	達成済み
②学生等研修受入人数	25名	152名	達成済み
③若手ﾃﾞｻﾞｲﾅｰ研究会延べ参加者数	20名	109名	達成済み
④展示会等への出展支援件数	９件	９件	達成済み
⑤コワーキングスペースでの試作数	10着	０着	未達成

⑶　平成29年度（目標時期：平成30年３月末）

指標項目	指標値	達成値	検証結果
①デザイナー研修生の受入人数	３名	６名	達成済み
②学生等研修受入人数	25名	151名	達成済み
③若手ﾃﾞｻﾞｲﾅｰ研究会延べ参加者数	20名	147名	達成済み
④展示会等への出展支援件数	９件	９件	達成済み
⑤コワーキングスペースでの試作数	10着	39着	達成済み

⑷　平成30年度（目標時期：平成31年３月末）

指標項目	指標値	達成値	検証結果
①デザイナー研修生の受入人数	３名	４名	達成済み
②学生等研修受入人数	25名	171名	達成済み
③若手ﾃﾞｻﾞｲﾅｰ研究会延べ参加者数	20名	217名	達成済み
④展示会等への出展支援件数	９件	11件	達成済み
⑤コワーキングスペースでの試作数	10着	84着	達成済み

⑸　令和元年度（目標時期：令和２年３月末）

指標項目	指標値	達成値	検証結果
①デザイナー研修生の受入人数	３名	３名	達成済み
②学生等研修受入人数	25名	147名	達成済み
③若手ﾃﾞｻﾞｲﾅｰ研究会延べ参加者数	20名	132名	達成済み
④展示会等への出展支援件数	９件	11件	達成済み
⑤コワーキングスペースでの試作数	10着	68着	達成済み

⑹　令和２年度（目標時期：令和３年３月末）

指標項目	指標値	達成値	検証結果
①若手ﾃﾞｻﾞｲﾅｰ研究会延べ参加者数	20名	92名	達成済み
②学生等研修受入人数	－	５名	－
③展示会等への出展支援件数	６件	５件	不達成
④コワーキングスペースでの試作数	50着	272着	達成済み

⑺　令和３年度（目標時期：令和４年３月末）

指標項目	指標値	達成値	検証結果
①若手ﾃﾞｻﾞｲﾅｰ研究会延べ参加者数	20名	83名	達成済み
②学生等研修受入人数	－	43名	－
③展示会等への出展支援件数	６件	８件	達成済み
④コワーキングスペースでの試作数	50着	29着	不達成

⑻　７年間（Ｈ27～Ｒ３）のＫＰＩ（重要業績評価指標）

指標項目	基準値（平成26年度）	目標値（R4.3.31）	現状値（R4.3.31）
①デザイナー研修生の受入人数	０名	24名	24名
②学生等研修受入人数	０名	700名	707名
③若手ﾃﾞｻﾞｲﾅｰ研究会延べ参加者数	０名	700名	780名
④播州織関連の起業・創業者数	０名	１名	１名

⑤コワーキングスペースでの試作数	０着	300点	492点
⑥展示会等への出展支援件数	５件	60件	65件
⑦残糸リサイクル率	－	５％	8.5％
⑧実証実験事業所エネルギー削減率	０％	H26対比 25％減	54.7％減

３　検証結果

⑴　デザイナー研修生受入れについては、平成27年度から指標値を上回る研修生を誘致し、育成しているところであり、当初の構想期間の目標値15名に対しても、上回る累計24名の受入れとなった。なお、令和２年度から新規受入れによる支援は廃止したが、３年間は継続して受入事業者への支援を行う。

研修育成されている者等に対しては、引き続き研修やアドバイス支援により、起業を目指す者や企業内での活動する者を支援していく。それによって、新たなブランドが立ち上がるなど産地内で活躍する者が出ている。なお、令和２年に１名が市内で起業した。

一方で、諸事情により受入事業所、播州織産地を離れる者もおり、定着につながらなかったケースもあった。

⑵　平成28年度から産地見学支援を本格実施し、ファッション系の大学や専門学校が各年度４校程度参加され、令和元年度までの４年間で累計では15校、延べ 621名となった。令和２年度以降については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、専門学校等は産地見学を中止され、実績はほとんどなかったが、若い人材への認知度向上につながった。

また、播州織実地研修に参加された方のうちから、平成29年度及び平成30年度においては新たに研修生として事業所に就職されたことから、誘致・就労・育成の流れにつながった。

⑶　若手デザイナー等の研修会への参加や、産地若手等で構成し、綿花栽培から収穫した綿を使用した製品づくりを行うグループ活動などが定着しつつある。令和３年度の参加者数も前年度同様に指標値より大きく上回った。若手デザイナー研究会の参加者数は延べ 780名となり、改定後の構想期間の目標値 700名を達成できた。

⑷　展示会等への出展支援件数は、新型コロナの影響により延期や中止されたことにより令和２年度は指標値を下回ったが、令和３年度末においては目標値60件を上回り達成でき、播州織の最終製品等の販路開拓につながった。今後も、展示会等への出展を支援

し、販路開拓・拡大を図っていくことが重要である。

⑸　コワーキングスペースを平成28年度に整備し、平成29年４月に開所したことから、当初は一定利用があるものの試作までつながっていない状況であった。その後は、デザイナー研修生等の若手人材が当スペースを活用し、最終製品の開発・試作を行い、平成29年度以降は試作数の指標値を上回り、令和３年度も指標値を上回った。また、改定後の構想期間の目標値 300点についても大きく上回る 492点となった。引き続き、当スペースで試作品のデザイン開発やサンプル製作など有効活用されるよう、コワーキングスペースの運営支援と合わせて、利用促進を図っていく必要がある。

⑹　残糸リサイクルは、平成31年３月に糸の備蓄システムを稼働し、主に産地内での循環を目的に、再利用による省資源化とコストの低減を図っている。リサイクル率は目標値５％を上回る 8.5％となり達成できたが、まだまだ利用者が少ないため周知、ＰＲを行う必要がある。

⑺　播州織最終製品の売上高については、新たな製品やブランドが生み出され、それによって平成29年から令和３年までの５年間で約 6,300万円（事業者からのアンケート調査による）の増となっている。また、播州織１平方メートル当たりの生産金額については、平成29年の654.6円/㎡に対して令和３年の675.4円/㎡と５年間で約 20.8円/㎡上昇し、播州織の付加価値の増加にもつながっている。

⑻　縫製工場立地については、コロナの影響もあり計画より遅れはあるものの工場整備に向け取り組まれており、令和４年度末に完成、稼働予定となっている。これにより、今後更に最終製品の創出・増加につながっていく。

⑼　改定後のＫＰＩ（重要業績評価指標）の指標項目については、新型コロナの影響により、事業を中止や延期をせざるを得ないものもあったが、令和３年度の計画期間満了時においては全ての項目に関して目標値を達成することができた。目標値を達成できたものの、人材育成や定着に係る課題については整理し、検証していく。また、これまで取り組んできた事業の一部については、引き続き支援の必要があることから継続して実施していく。